

2023年3月期 第3四半期 決算ハイライト



リソナホールディングス

2023年1月31日

2023年3月期第3四半期(累計) 決算の概要

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益：1,237億円

- 前同比△28億円(△2.2%)、通期目標*1比進捗率 82.4%

■ 実質業務純益：1,301億円 前同比△369億円(△22.1%)

コア収益(国内預貸金利益+フィー収益+経費)：前同比+45億円

● 業務粗利益：4,327億円 前同比△434億円(△9.1%)

- 国内預貸金利益：前同比△37億円
貸出金平残：同 +2.73%、貸出金利回り：同 △3bps
(政府等向け貸出除き) 同 +1.81%、同 △3bps
- フィー収益：前同比+16億円、フィー収益比率：35.0%
保険、承継関連、決済関連が牽引
- 債券関係損益(先物込)：前同比△409億円
外債を中心に有価証券ポートフォリオの健全化を実施

● 経費：△3,028億円 前同比+65億円(費用減少) 人件費、物件費ともに改善

■ 与信費用：△7億円 前同比+197億円(費用減少)

年間計画(△380億円)比費消率 2.0%

■ 自己株式の取得・消却

- 150億円、23.3百万株(発行済株式数の0.97%)の自己株式取得が完了(2022/12/23) ⇒ 全株式を消却済(2023/1/20)

HD連結(億円)	2023/3期 1-3Q (a)	前同比		通期目標*1 比進捗率 (d)
		(b)	増減率 (c)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (1)	1,237	△28	△2.2%	82.4%
1株当たり四半期純利益(EPS、円) (2)	51.95	△0.08	△0.1%	
1株当たり純資産(BPS、円) (3)	1,021.75	△28.03	△2.6%	
業務粗利益 (4)	4,327	△434	△9.1%	
資金利益 (5)	3,116	△60		
うち国内預貸金利益*2 (6)	2,511	△37		
フィー収益 (7)	1,515	+16		
フィー収益比率 (8)	35.0%	+3.5%		
信託報酬 (9)	161	+7		
役務取引等利益 (10)	1,353	+8		
その他業務粗利益 (11)	△304	△390		
うち債券関係損益(先物込) (12)	△441	△409		
経費(除く銀行臨時処理分) (13)	△3,028	+65	+2.1%	
経費率 (14)	69.9%	+5.0%		
実質業務純益 (15)	1,301	△369	△22.1%	
株式等関係損益(先物込) (16)	483	+41		
与信費用 (17)	△7	+197		
その他の臨時・特別損益 (18)	△41	+73		
税金等調整前 四半期純利益 (19)	1,735	△57	△3.1%	
法人税等合計 (20)	△487	+36		
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (21)	△10	△7		

*1. 2023/3期 通期業績目標1,500億円

*2. 国内預貸金利益：銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む)

2023年3月期第3四半期を振り返って

中計最終年度において、持続的成長に向けた取り組みを加速

■ 収益・コスト構造改革の着実な進展

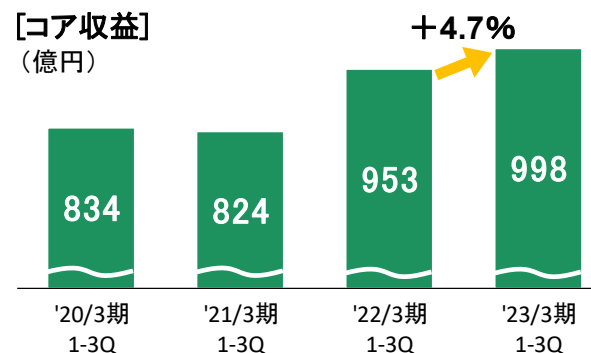
- コア収益は増加基調を維持：前同比+45億円（+4.7%）

■ F2F中心のコンサルティングビジネスの伸長

- 貸出金残高(末残)：41.1兆円（'21/12末比 +4.5%）
- 承継関連収益：157億円（前同比 +12.6%）

■ “新たな収益の柱”の成長

- アプリDL：616万DL（'21/12末比+32.6%）、他Gr外100万DL
 - 常陽銀行・足利銀行（'21/3月～）に続き、百十四銀行（'22年度中）、京葉銀行（'23年度中）でサービス提供開始予定
- ファンドラップ収益：68億円（前同比 +13.2%）、同残高*1：7,353億円、うちGr外516億円
 - 横浜銀行（'21/4月～）、京葉銀行（'22/6月～）に続き、七十七銀行（'23/1月～）で取扱開始
- デビットカード収益：36億円（前同比 +16.3%）、同発行枚数：315万枚（'21/12末比 +12.3%）



環境変化への適切・タイムリーな対応

■ 内外金融政策動向を踏まえた対応

- 新たな環境に則したアクションプランの策定・実行
 - 外債は安定利収確保に向けた再構築フェーズへ
 - 円債は金利上昇に対する耐性強化を図りつつ中長期目線での保有を継続
 - 円貨基本運調の最適化を通じた収益アップサイド実現

■ 政策保有株式の削減

- '23/3期1-3Q 削減額*2：162億円
- 同売却益：434億円

800億円/4年 削減計画
→ 想定ペース
(200億円/年)比
進捗率：81.1%

■ 信用リスクへの対応

- 物価上昇・供給制約等を踏まえて予兆管理を強化
- コロナ特例引当：'22/12月末 29億円

■ SX・DXに係るお客さまニーズの先読みと、タイムリーなソリューション提供

*1. 法人込、グループ外を含む *2. 銀行合算、上場分、取得原価

2023年3月期第3四半期(累計) 損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		りそな銀行		埼玉りそな銀行		KMFG銀行合算		連単差 (a)-(c)
	(a)	前同比 (b)	(c)	前同比 (d)	(e)	前同比 (f)	(g)	前同比 (h)	(i)	前同比 (j)	
業務粗利益 (1)	4,327	△434	3,904	△429	2,130	△297	790	△70	982	△62	423
資金利益 (2)	3,116	△60	3,064	△58	1,657	△21	609	△37	797	+0	52
うち国内預貸金利益 (3)			2,511	△37	1,303	△13	502	△13	704	△10	
うち投資信託解約損益 *1 (4)	1	△9	2	△7	—	—	—	△6	2	△1	△1
フィー収益 (5)	1,515	+16	1,153	+18	749	+27	222	+23	181	△31	361
フィー収益比率 (6)	35.0%	+3.5%	29.5%	+3.3%	35.1%	+5.4%	28.1%	+5.0%	18.4%	△1.9%	
信託報酬 (7)	161	+7	162	+7	161	+7	0	+0	0	△0	△0
役務取引等利益 (8)	1,353	+8	991	+11	587	+19	222	+23	181	△31	362
その他業務粗利益 (9)	△304	△390	△314	△389	△275	△302	△41	△56	3	△31	9
うち債券関係損益(先物込) *1 (10)	△441	△409	△440	△408	△363	△309	△59	△63	△17	△35	△0
経費(除く銀行臨時処理分) (11)	△3,028	+65	△2,821	+77	△1,536	+42	△552	+12	*2 △732	+22	△207
経費率 (12)	69.9%	+5.0%	72.2%	+5.3%	72.1%	+7.0%	69.7%	+4.1%	74.5%	+2.2%	
実質業務純益 (13)	1,301	△369	1,082	△352	593	△255	238	△57	250	△39	219
コア業務純益(除く投資信託解約損益) *3 (14)			1,534	+84	973	+69	294	+14	267	+0	
株式等関係損益(先物込) (15)	483	+41	487	+47	413	+17	52	+18	21	+11	△4
与信費用 (16)	△7	+197	△7	+194	△2	+154	12	+16	△17	+23	△0
その他の臨時・特別損益 (17)	△41	+73	△37	+67	△21	+32	△13	+6	△2	+28	△4
税引前(税金等調整前) 四半期純利益 (18)	1,735	△57	1,525	△42	982	△50	290	△15	251	+23	209
法人税等合計 (19)	△487	+36	△429	+25	△269	+25	△87	+2	△72	△2	
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (20)	△10	△7									
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益 (21)	1,237	△28	1,096	△17	712	△24	203	△12	179	+20	

*1. 以下の投資信託解約損益は、投資信託分配金と通算してマイナスとなるため、当該金額を債券関係損益に計上

'22/3期1-3Q(RB)： 投信解約損益△48億円、投信分配金+29億円 → ネット△19億円

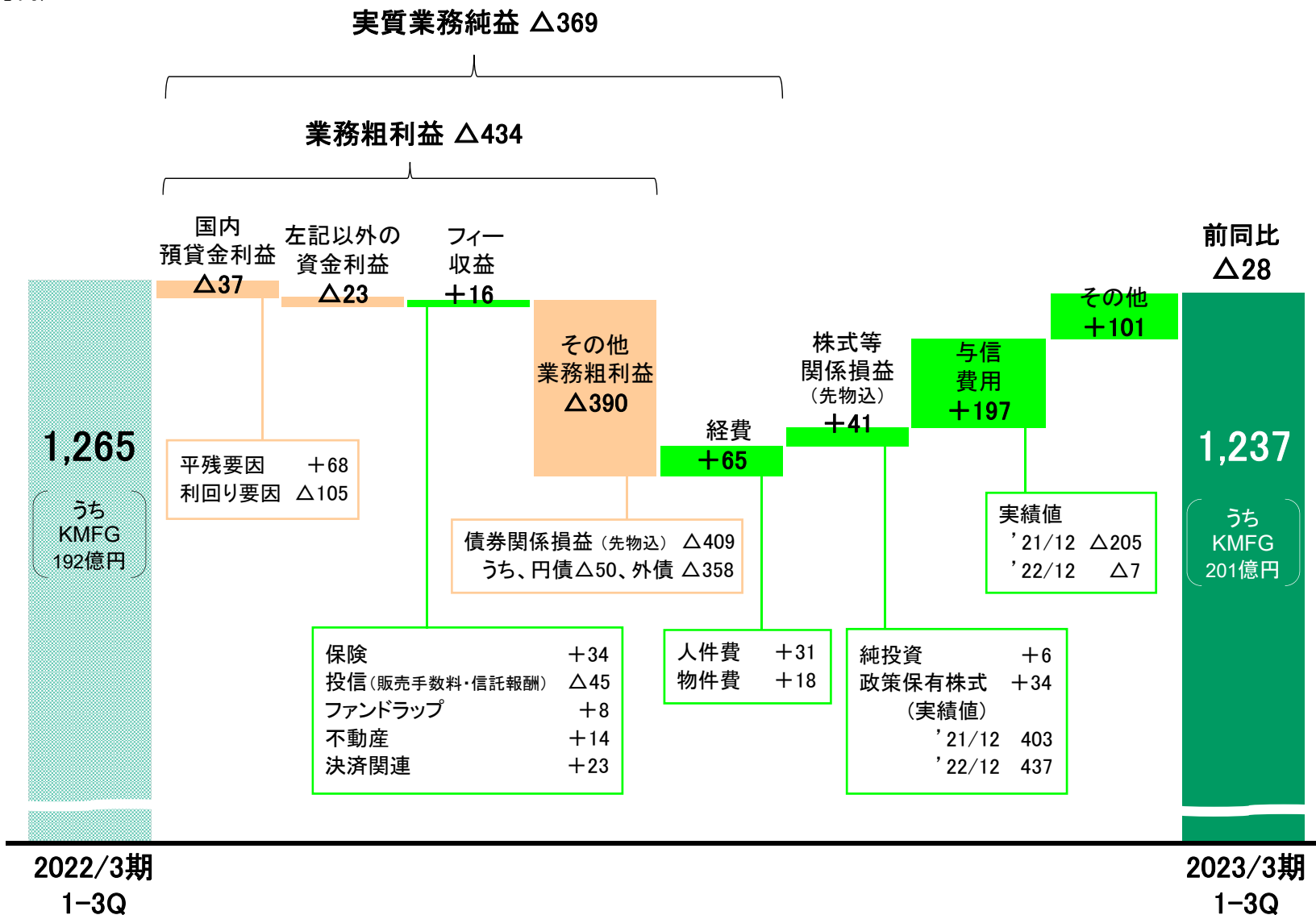
'23/3期1-3Q(RB・SR)： 投信解約損益△39億円、投信分配金+12億円 → ネット△26億円

*2. KMBの旧びわこ銀行のれん償却額(△5億円)を除く *3. 実質業務純益 - 投資信託解約損益 - 債券関係損益(現物)

親会社株主に帰属する四半期純利益の前同比増減要因

HD連結

(億円)



貸出金・預金の平残・利回り(国内)

銀行合算

貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

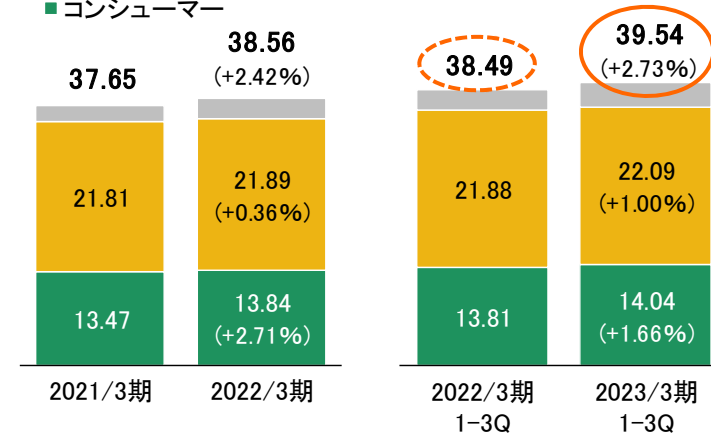
- '23/3期1-3Q (前同比) : 貸出金平残+2.73%、利回り△3bps
(政府等向け貸出除き) 貸出金平残+1.81%、利回り△3bps
⇒ '23/3期(計画*1) 同+1.79% 同△2bps

平残: 兆円 収益・費用: 億円		1-3Q		2023/3期	
		実績 (a)	前同比*4 (b)	計画*1 (c)	前期比*4 (d)
貸出金	平残 (1)	39.54	+2.73%	39.65	+2.81%
	利回り (2)	0.85%	△0.03%	0.85%	△0.03%
	収益 (3)	2,537	△46	3,385	△40
コーポレート部門*2 (りそなHD向け貸出除)	平残 (4)	22.09	+1.00%	22.16	+1.24%
	利回り (5)	0.81%	△0.01%	0.81%	△0.01%
一般貸出	平残 (6)	18.82	+1.90%	18.88	+2.12%
	利回り (7)	0.77%	△0.01%	0.77%	△0.01%
コンシューマー 部門*3	平残 (8)	14.04	+1.66%	14.09	+1.80%
	利回り (9)	1.07%	△0.04%	1.07%	△0.04%
預金+NCD	平残 (10)	61.01	+3.31%	61.12	+3.17%
	利回り (11)	0.00%	△0.00%	0.00%	△0.00%
	費用 (12)	△26	+9	△39	+6
預貸金	利回り差 (13)	0.84%	△0.03%	0.84%	△0.03%
	利益 (14)	2,511	△37	3,346	△33

貸出金平残

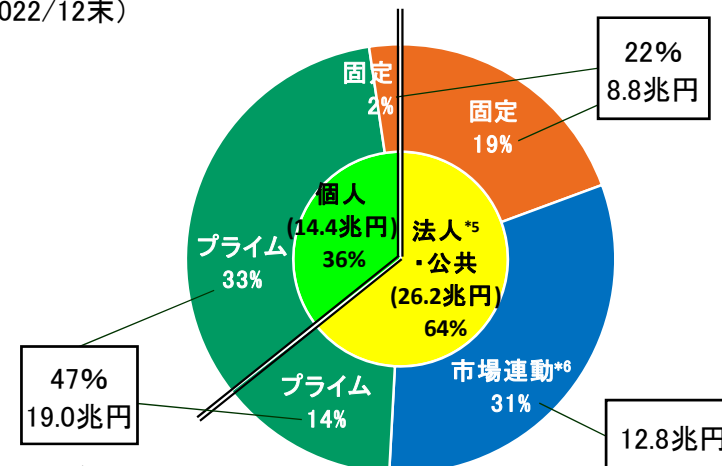
【貸出金平残(兆円)】()内は前同比増減率

- コーポレート (りそなHD向け貸出除き)
- コンシューマー



貸出金構成

(2022/12末)



*1. 修正計画(2022年11月公表) *2. 社内管理計数、コーポレート部門: 一般貸出 + アパートマンションローン
*3. 社内管理計数、コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン
*4. 平残は増減率 *5. アパートマンションローンを含む *6. 1年以内に期日到来する固定金利(スプレッド)貸出を含む

貸出金・預金末残

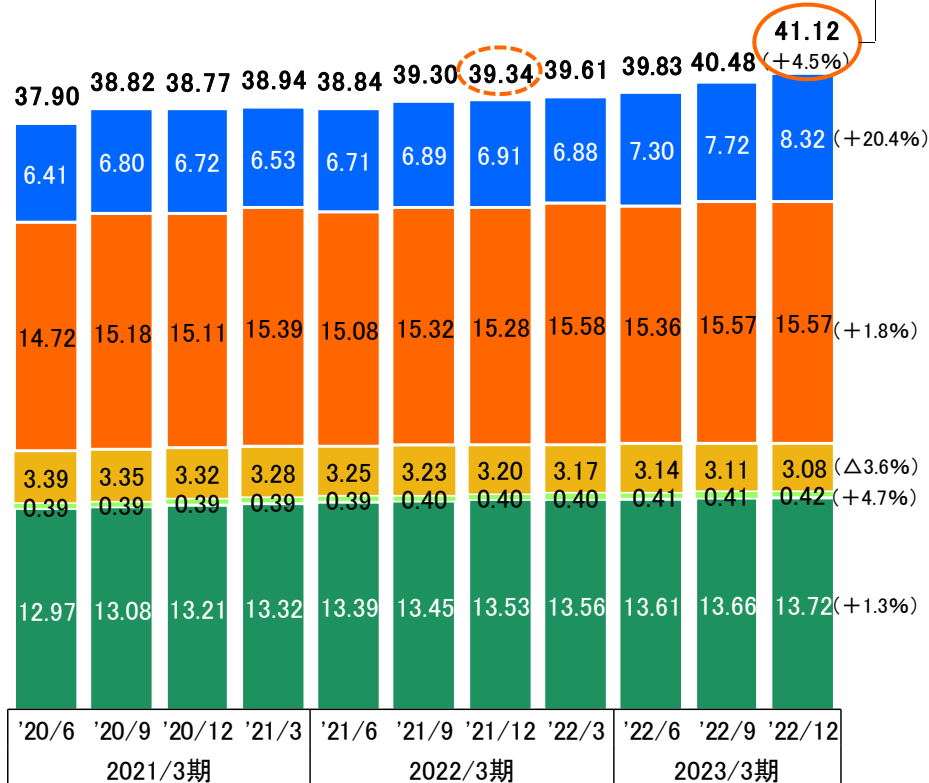
銀行合算

貸出金末残

兆円、()内は
前同比増減率

- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)

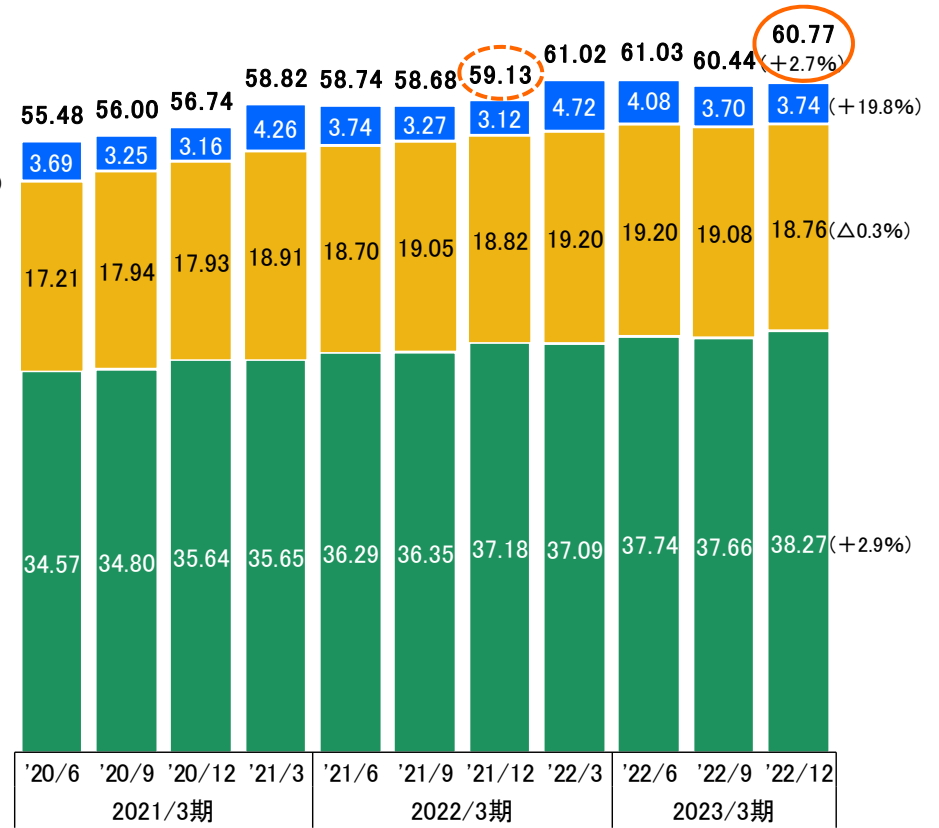
うち政府等(2.27兆円)
除き +2.3%



預金末残

兆円、()内は
前同比増減率

- その他
- 法人
- 個人



住宅ローンビジネス

銀行合算

住宅ローン実行額

兆円、()内は
前同比増減率

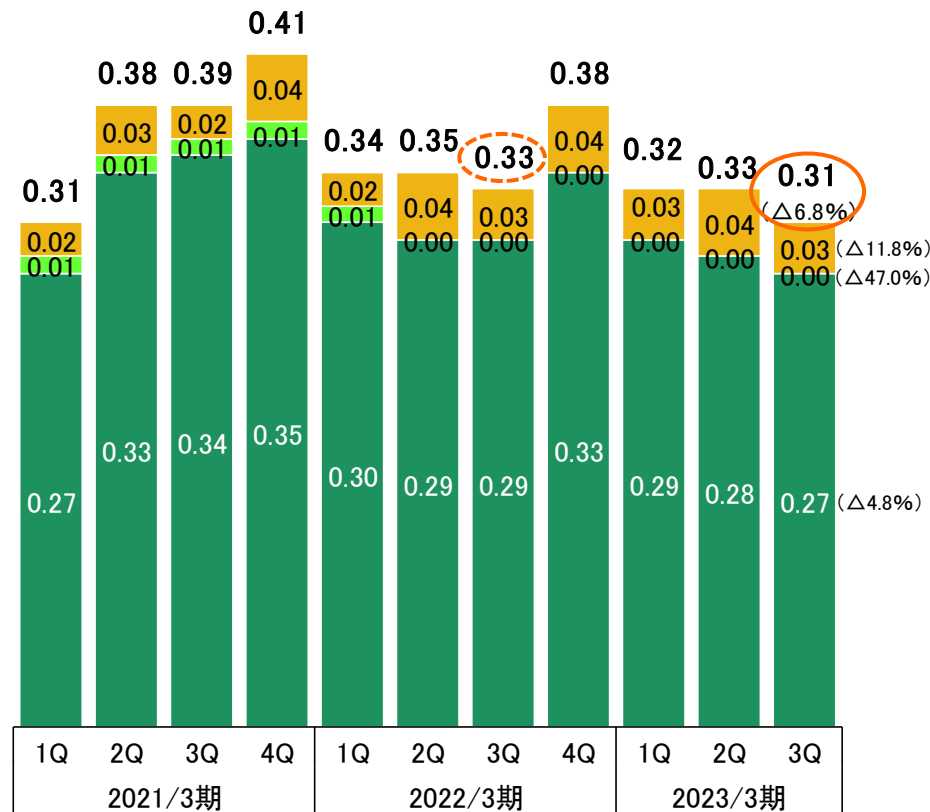
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン

1~3Q累計

1.03

1~3Q累計

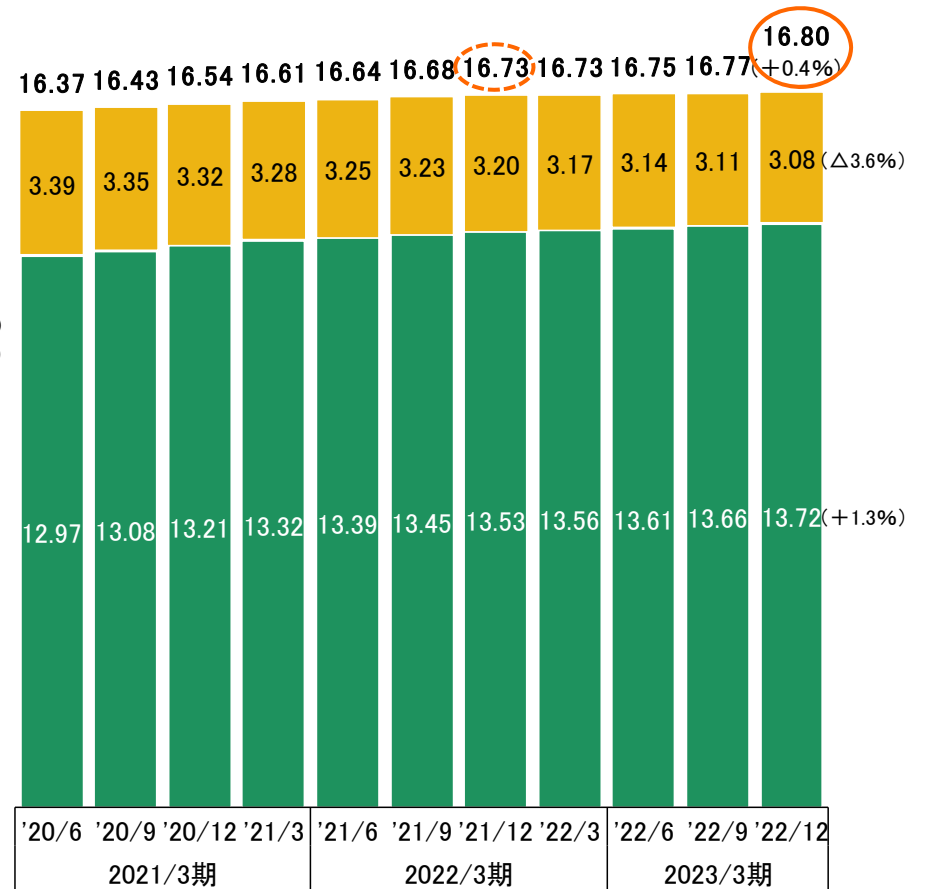
0.98
(△4.9%)



住宅ローン未残

兆円、()内は
前同比増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン

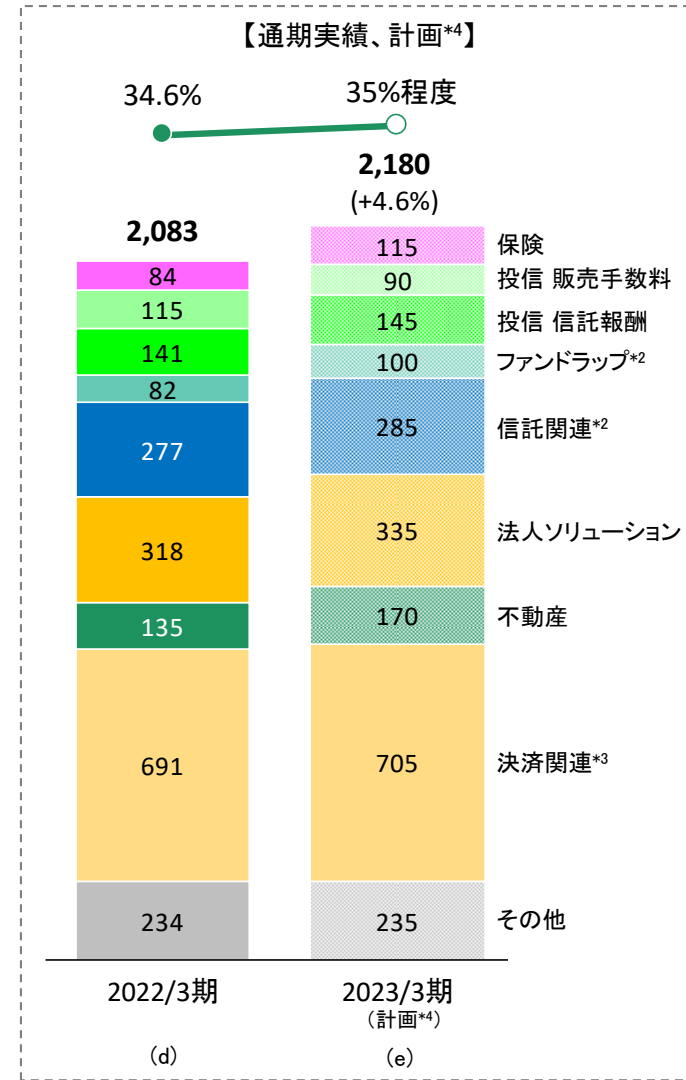
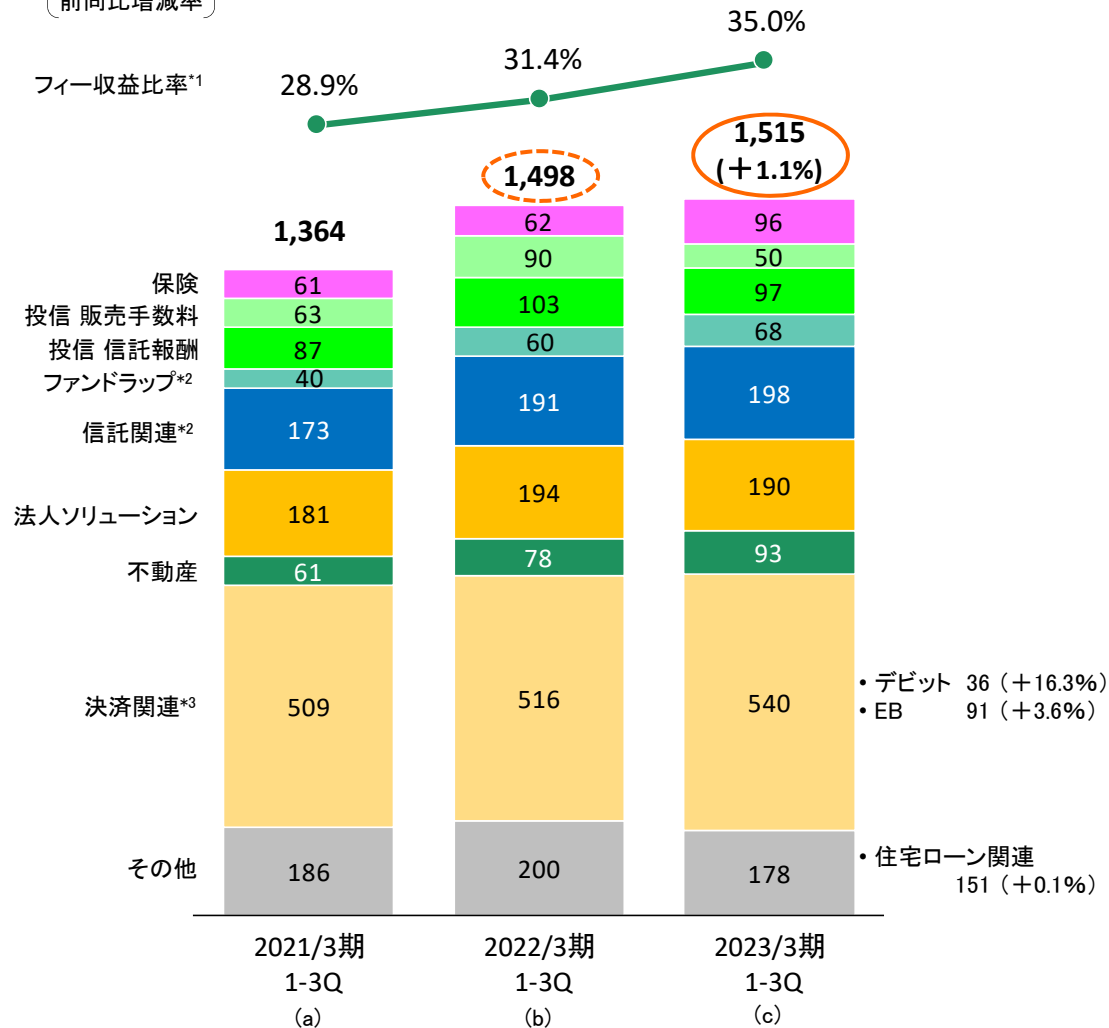


フィー収益

■ フィー収益比率*1: 35.0%

■ 保険 (前同比+34億円、+55.9%)、承継関連(承継信託・不動産・M&A) (前同比+17億円、+12.6%) 等が牽引

億円、()内は
前同比増減率

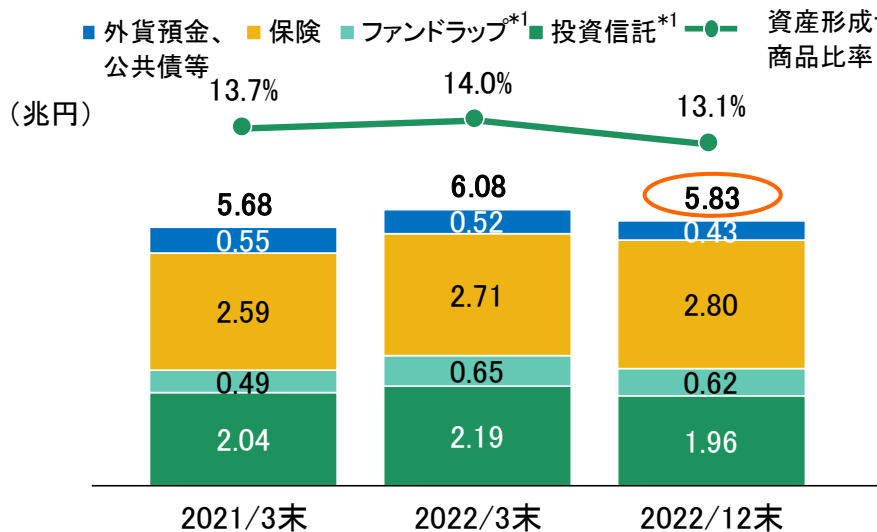


*1. (役務取引等利益+信託報酬) / 業務粗利益 *2. リそなアセットマネジメントの役務利益を含む
 *3. 内為、口振、EB、デビット等およびりそな決済サービス、りそなカードの役務利益 *4. 修正計画(2022年11月公表)

主要なフィービジネス(1) (資産形成サポートビジネス)

HD連結

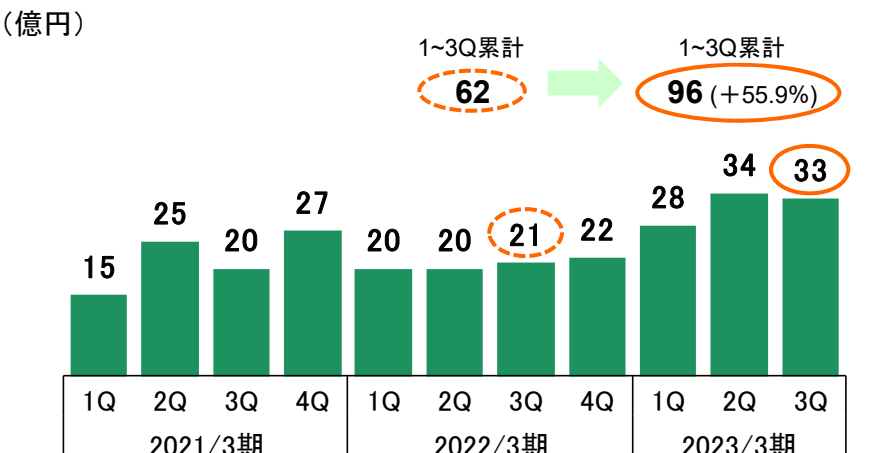
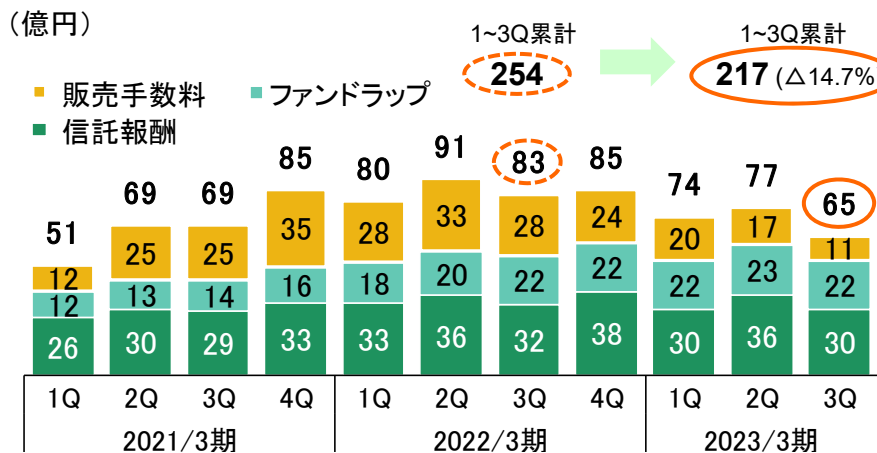
個人向け資産形成サポート商品残高



- FW(ファンドラップ)残高*1: '22/12末 7,353億円 (法人込*3)
- 投資信託・FWの増減: '23/3期1-3Q 約△2,500億円
 - うち純流入額(販売-解約・償還): 約+390億円
- 投信・FW、保険利用先数: '22/12末 97.0万先 ('21/12末比+0.9万先)
- iDeCo加入者数*4: '22/12末 16.7万先 ('21/12末比+11.6%)

投資信託・ファンドラップ収益

保険収益

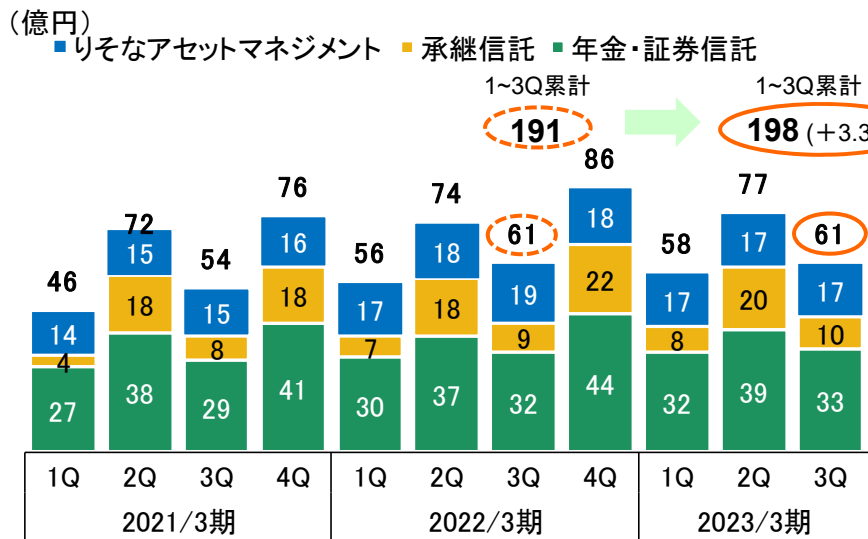


*1. 時価ベース残高 *2. 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))
 *3. グループ外を含む *4. iDeCo加入者 + 運用指図者

主要なフィージネス(2) (信託・法人ソリューション・不動産)

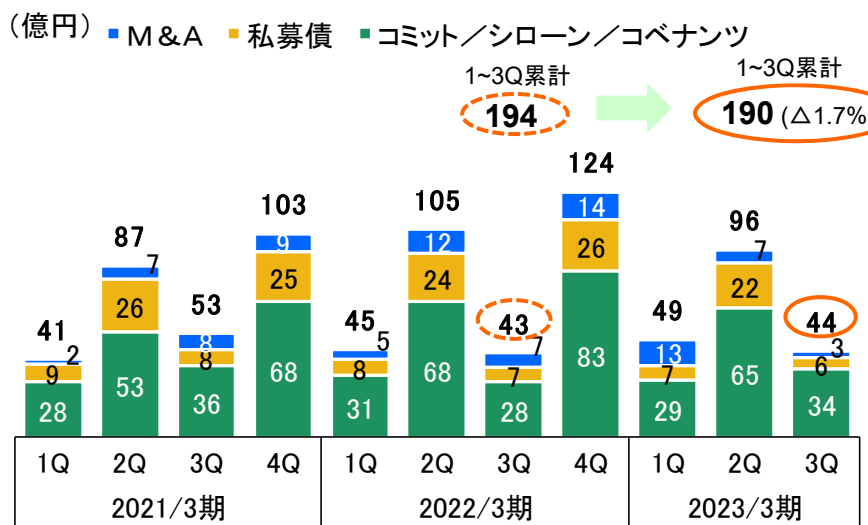
HD連結

信託業務関連収益

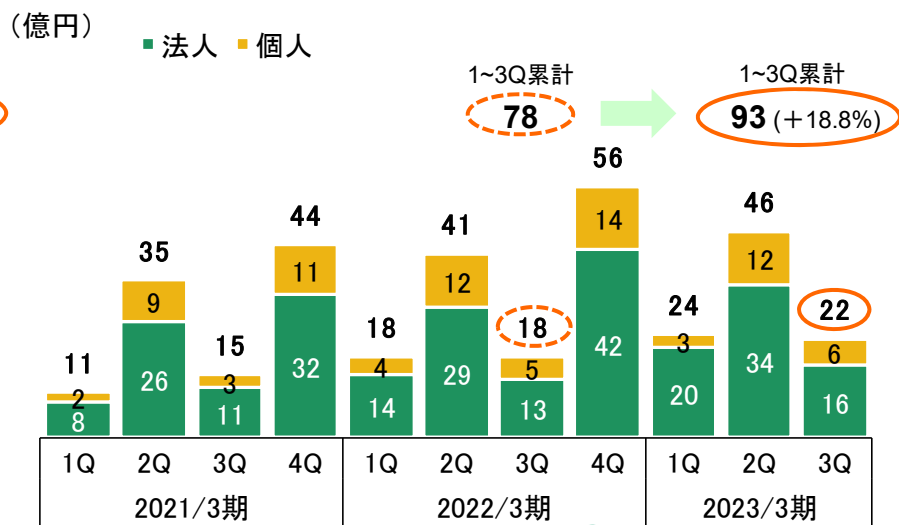


	'21/3末	'22/3末	'22/12末
承継信託 受託件数(ストック)	3.43万件	3.93万件	4.21万件
証券信託 総預り資産残高	39.11兆円	40.91兆円	41.50兆円
年金信託 受託残高	5.59兆円	5.43兆円	5.49兆円

法人ソリューション収益



不動産業務収益*1



*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

与信費用、不良債権

HD連結・銀行合算

与信費用

(億円)	2021/3期 (a)	2022/3期		2023/3期	
		1-3Q (b)	(c)	1-3Q (d)	計画 (e)
HD連結 (1)	△574	△205	△587	△7	△380

銀行合算 (2)	△523	△202	△612	△7	△310
一般貸倒引当金 (3)	△159	△88	△72	△40	
個別貸倒引当金等 (4)	△363	△114	△539	33	
新規発生 (5)	△450	△176	△660	△197	
回収・上方遷移等 (6)	87	62	120	231	

連単差 (7)	△51	△2	24	△0	△70
うち、住宅ローン保証 (8)	△5	17	65	16	
うち、リそなカード (9)	△15	△10	△14	△11	

<与信費用比率>		(bps)				
HD連結*1 (10)		△15.0	△6.8	△14.8	△0.2	△9.4
銀行合算*2 (11)		△13.4	△6.6	△15.1	△0.2	△7.5

*正の値は戻入を表す

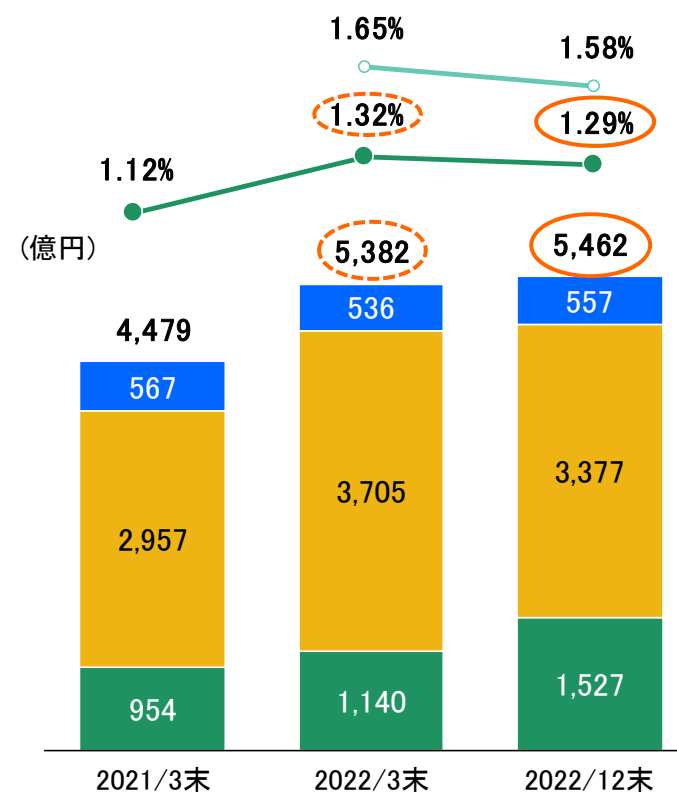
*1. HD連結与信費用 / (連結貸出金 + 連結支払承諾見返末残) (期首・期末平均)

*2. 銀行合算与信費用 / 金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権
- 要管理債権
- 不良債権比率
- (ご参考) 不良債権比率(HD連結)



有価証券*1

(億円)	2021/3末	2022/3末	2022/12末	評価差額
	(a)	(b)	(c)	(d)
その他有価証券 (1)	44,807	41,595	39,895	3,831
株式 (2)	3,252	3,059	2,896	5,369
債券 (3)	25,864	29,401	26,399	△ 929
国債 (4)	9,257	11,373	8,728	△ 618
(デュレーション) (5)	13.1年	9.3年	11.2年	-
(BPV) (6)	△12.1	△11.5	△9.3	-
地方債・社債 (7)	16,606	18,028	17,670	△ 310
その他 (8)	15,690	9,133	10,599	△ 607
外国債券 (9)	9,048	5,625	5,298	△ 429
(デュレーション) (10)	6.3年	6.2年	5.7年	-
(BPV) (11)	△5.1	△2.6	△2.3	-
国内投資信託 (12)	6,584	3,468	5,241	△205
(評価差額) (13)	6,153	5,212	3,831	
満期保有債券 (14)	19,422	29,347	37,825	△ 1,707
国債 (15)	10,356	18,561	22,764	△ 1,349
(評価差額) (16)	115	△ 303	△ 1,707	

■ CLO: ゼロ

政策保有株式*2

2022/12期(実績)

削減額(上場分・取得原価): 162億円、売却益等(同): 434億円
(HD連結ベース: 429億円)

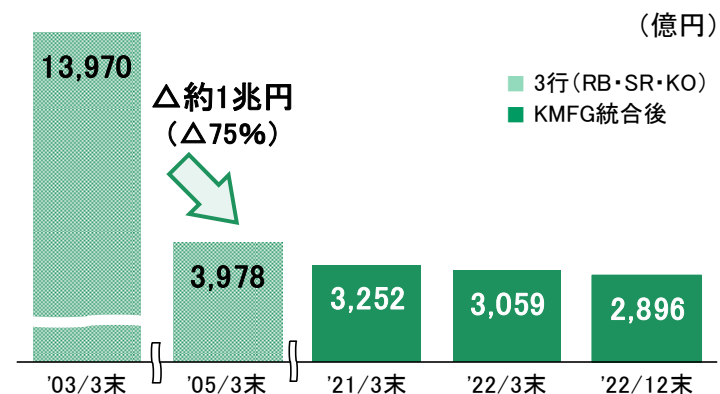
損益分岐点株価(日経平均ベース): 7,500円程度

政策保有株式に関する方針の概要

- 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減。今後も「残高縮減」が基本方針
- 保有の妥当性は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証により判断
保有の妥当性が認められる場合も市場環境や経営・財務戦略を考慮し売却する場合あり

'22/4月からの4年間で800億円を削減する計画

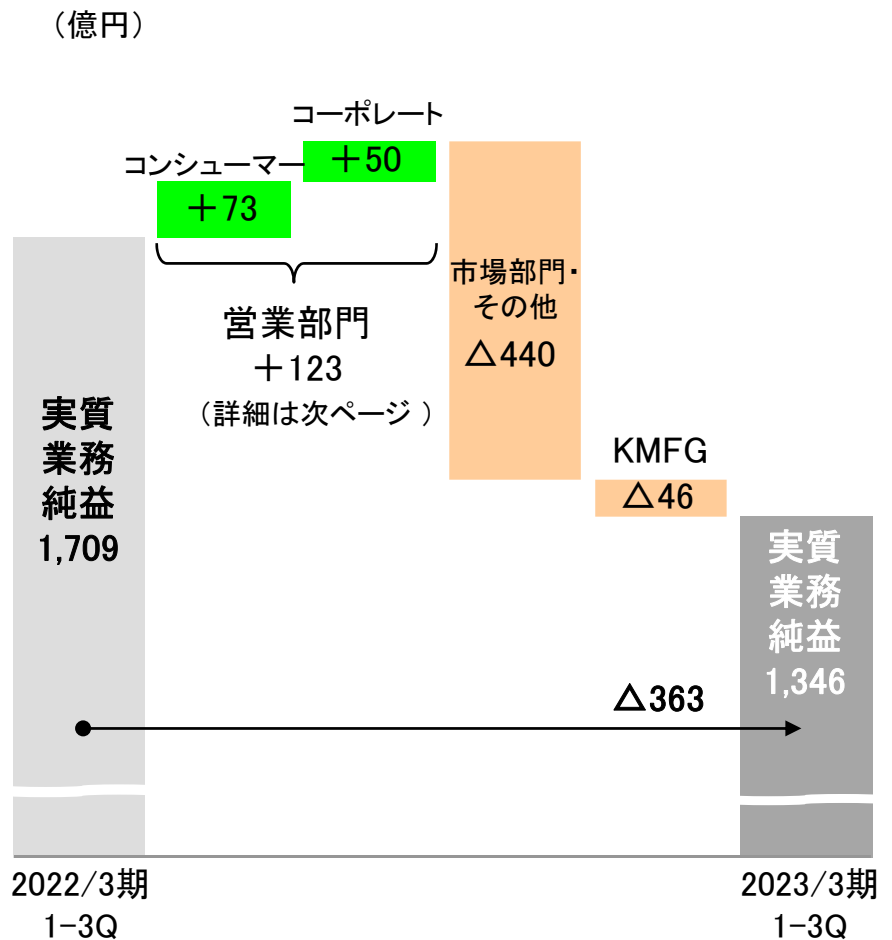
【政策保有株式残高の推移】



*1. 取得原価、時価のある有価証券 *2. 「政策保有株式」は、保有目的により、①政策投資株式、②戦略投資株式に分類しており、
①政策投資株式を残高縮減対象としています。なお、グループ銀行が保有する上場株式は、全て①政策投資株式に該当します

(ご参考)事業部門別の損益概要

(億円)		2023/3期 1-3Q	前同比
営業部門	業務粗利益 (1)	3,486	+123
	経費 (2)	△2,259	+1
	実質業務純益 (3)	1,227	+123
コンシューマー	業務粗利益 (4)	1,405	+54
	経費 (5)	△1,151	+18
	実質業務純益 (6)	254	+73
コーポレート	業務粗利益 (7)	2,081	+68
	経費 (8)	△1,108	△16
	実質業務純益 (9)	973	+50
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	△174	△488
	経費 (11)	△1	+48
	実質業務純益 (12)	△173	△440
KMFG	業務粗利益 (13)	1,059	△62
	経費 (14)	△767	+15
	実質業務純益 (15)	292	△46
合計	業務粗利益 (16)	4,371	△428
	経費 (17)	△3,028	+65
	実質業務純益 (18)	1,346	△363



管理会計における計数の定義

1. 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
2. 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む

(ご参考) 営業部門の損益概要

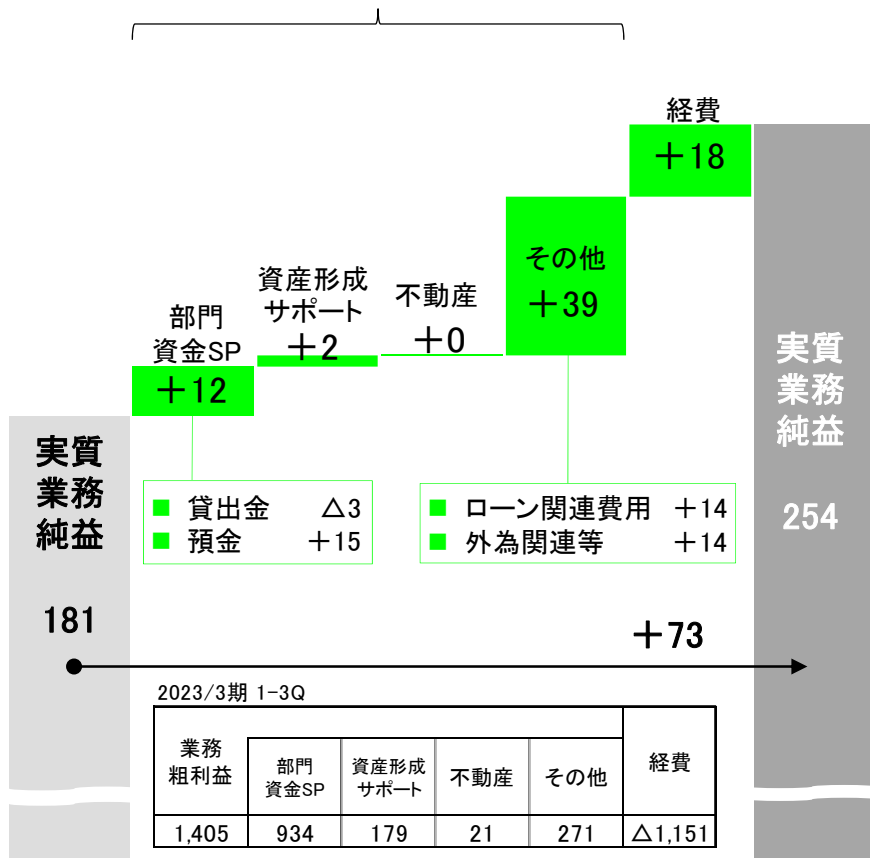
HD連結 (KMFG連結除)

コンシューマー部門

■ 実質業務純益は前同比+73億円の増益

(億円)

業務粗利益 +54



2022/3期
1-3Q

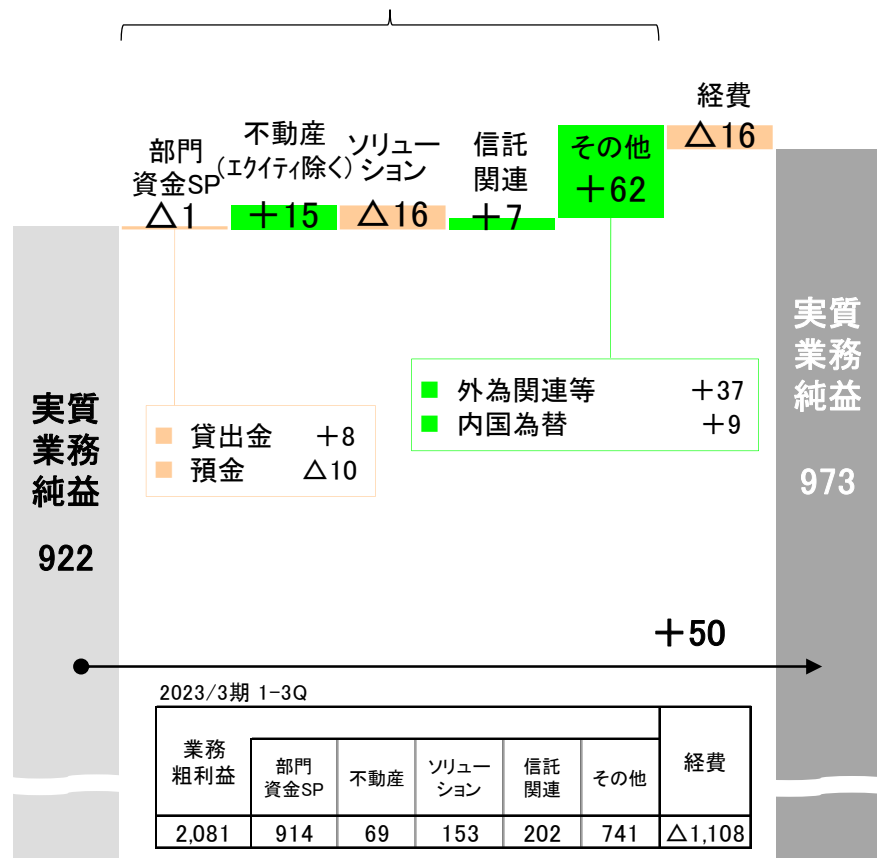
2023/3期
1-3Q

コーポレート部門

■ 実質業務純益は前同比+50億円の増益

(億円)

業務粗利益 +68



2022/3期
1-3Q

2023/3期
1-3Q

- 本資料における表記の定義は下記の通りです。

[HD] リそなホールディングス、[RB] リそな銀行、[SR] 埼玉りそな銀行、
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、[KMB] 関西みらい銀行※、[MB] みなと銀行
※[KU] 関西アーバン銀行 と [KO] 近畿大阪銀行 が2019年4月1日に合併

利益にマイナスの場合は「△」を付して表示
計数には社内管理計数を含む

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。